

IPA(情報処理推進機構)が実施する、独創的なアイデアと技術を持つ個人を発掘、支援する事業。専門知識を持つプロジェクトマネージャー(PM)の指導や助言のもと、開発を進める。優秀なクリエイターは「スーパークリエイター」に認定される。現在公募中である。

IT社会の「未踏」に挑む若者たち



「ソフトの開発はアートの制作と同じ 開発者のエゴを入れて初めて完成する」



Lunandscape 代表取締役 兼 CEO

こんどう ひでかず

近藤 秀和

2004年度上期 未踏スーパークリエイター認定

PROFILE

早稲田大学在学中に、日本発のウェブブラウザ「Lunandscape」を開発。さらなる機能強化を見据え、会社を退職して「未踏」へ応募。'04年に開発やサポートなどの円滑化を図る目的でLunandscape株式会社を設立。'08年には米シリコンバレーにLunandscape Incを設立した。

**当たり前が
実現されていない
そこにチャンスがある**

「世界最速かつレイアウトが崩れない」という評判で、国内はもとより海外でも人気のウェブブラウザがある。ソフトの名は「Lunandscape」。その生みの親が近藤氏である。「タブ機能やお気に入りなどのグーループ化、よく見るサイトが上位に表示されるなど、今では当たり前ですが、数年前にはなかったのです」。必要な情報を自動で入手できるのが理想だという。'01年にフリーソフトとして公開すると、瞬く間に10万人のユーザーを獲得。そこで近藤氏は「ブラウザで食っていけない」

近藤氏の育ててきたLunandscapeVer.5

国内で1000万回以上のダウンロード数を誇り、世界198カ国で愛用されているフリーソフト「Lunandscape」の最新版Ver.5。柔軟なカスタマイズ性を備え、拡張性に富んだプラグインがそろそろ。世界初のトリプルエンジン搭載型で、ページデザインが崩れないのが特徴。



と確信したという。そして、さらなる機能強化を目指し、勤めていた大企業を辞め、大学に戻り、「未踏」に応募した。

**「未踏」は資金だけでなく
ビジネスをするうえでの
信用も与えてくれた**

「未踏」へ応募したきっかけは、すでに応募経験のある先輩が身近にあり、採択時のメリッ トを知って興味を持ったからだ。見事採択されてからは、「未踏」が1年間の資金を支援してくれるので、その間食べるのに困ることはなく、開発に没頭できました」という。また、「ビジネスをするうえで、IPAの採択事業であるという信頼が効いてくる」と強調した。「未踏」に

応募する人へのメッセージを伺うと、「経営や法律はロジカルなので技術者なら理解も早いでしょう。むしろ理論が通用しないのは、営業などの人づき合いでも場数をこなせば自然に身につきますよ」と笑ってみせる。

昨年海外拠点を設立し世界を視野にしている点については「コアテクノロジが海外進出する例は少なく、実際に行動を始めてみました」と意欲的だ。

**機能の豊富さと
使いやすさの裏腹を
まとめるマジック**

Lunandscapeは洗練されたデザインも魅力だ。「未踏」が人脈を広げてくれました。スーパークリエイターどうしの交流に加え、マンガ家やアーティストの知り合いもでき、人間的に成長できました。それがLunandscapeの礎になっているとも言えるでしょう。

「開発に際しては、直感で使えるようにする努力は惜しみません。直感的かどうかは定量的に表現できず、それこそ、直感でしか判断できません。しかし、開発はアートの制作と同じ。人それぞれにフィードバックが違いますが、これは、というものは開発者としての信念、ときにはエゴを貫くことで、ユーザーの理解が得られるはずです」世界的にユーザーを広げるソフトには、氏の熱い思いが込められている。